

別表（第6条の2関係）

<p>工学専攻</p>	<p>工学専攻では幅広い工学分野への関心を基礎に、技術と人間、文化、社会との関わりについての理解、現象及び工学的手法に対する数理的な理解とともに、様々な人々と協働して工学の課題を解決する実践力を備え、工学を発展させる研究能力又は産業分野において技術開発を牽引する能力を有する人材を養成する。</p>
<p>生命・応用化学専攻</p>	<p>① 環境問題やエネルギー問題等の重要課題に関し、化学に基づいた先端科学技術の研究開発をすることができるイノベーション・リーダーとしての役割を果たし、学際的新領域の創成に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 歴史、文化、社会を技術的観点から考察する能力、専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力、基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力を育成する。専門知識として分子レベルでの材料特性の設計、エネルギー変換、情報交換・伝達、工学材料の開発、創薬や生体材料、環境調和性の高い材料、生命模倣機能性材料等の開発のための知識と技術を習得させる。</p> <p>③ 化学に基づく物質科学、材料科学に関連する産業、化学品、食品、薬品、繊維、石油化学、プラント設計、材料・素材、化成品、塗料、医薬・医療、エネルギー、エレクトロニクス、情報通信・機械・自動車、環境産業等の分野で活躍する研究者・技術者を輩出する。これらの産業分野における技術開発研究に携わる人材を輩出するほか、関連する研究機関に人材を輩出する。</p>
<p>物理工学専攻</p>	<p>① 物理的理解に基づいたシステムや物質に関する先端科学技術の研究開発をすることができるイノベーション・リーダーとしての役割を果たし、学際的新領域の創成に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 歴史、文化、社会を技術的観点から考察する能力、専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力、基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力を育成する。専門知識として先進的なシミュレーション解析技術、ナノスケール計測による物性評価技術、材料物性・機能制御技術、環境負荷の低い高性能材料エネルギー変換デバイス等の技術・知識を体系的に習得させる。</p> <p>③ 物理に基づく材料科学、機器開発に関連する産業、素材、自動車・機械産業、航空機・宇宙産業、電気・電子部品産業、化学・エネルギー産業、情報通信産業、精密機器、電子デバイス、電子装置・システム、工作機械、医療機器、CAE(Computer Aided Eng.)等の分野</p>

	<p>で活躍する研究者・技術者を輩出する。これらの産業分野における技術開発研究に携わる人材を輩出するほか、関連する研究機関に人材を輩出する。</p>
<p>電気・機械工学専攻</p>	<p>① 我が国のものづくり産業を支える電気電子工学と機械工学に関する先端科学技術の研究開発をすることができるイノベーション・リーダーとしての役割を果たし、学際的新領域の創成に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 歴史、文化、社会を技術的観点から考察する能力、専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力、基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力を育成する。専門知識として次世代の電気・機械システム、半導体デバイス、電子材料・機器、情報通信システム、ロボティクス・メカトロニクス、制御システム、機能デバイス、高効率エネルギーシステム等を開発するための知識・技術を習得させる。</p> <p>③ 自動車産業、航空・宇宙産業、精密機器産業、情報通信産業、重工業、エレクトロニクス産業、エネルギー産業、デバイス産業等の分野で活躍する研究者・技術者を輩出する。これらの産業分野における技術開発研究に携わる人材を輩出するほか、関連する研究機関に人材を輩出する。</p>
<p>情報工学専攻</p>	<p>① 次世代情報システムや高度情報化社会の実現のための情報工学に関する先端科学技術の研究開発をすることができるイノベーション・リーダーとしての役割を果たし、学際的新領域の創成に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 歴史、文化、社会を技術的観点から考察する能力、専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力、基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力を育成する。専門知識として高機能計算、ネットワーク技術、計算理論、数理手法を基礎とする次世代情報システムや人にやさしい高度情報化社会の実現、人とコンピュータが共存、創造的活動の支援のための知識・技術、またこれらの数理的な理解やモデル化の技術等を習得させる。</p> <p>③ 総合電気、IT インフラストラクチャ、通信・ソフトウェア、情報ネットワークシステム、自動車・ITS、組込みシステム、情報機器、IT ソリューション・コンサルタント、マルチメディア・アミューズメント技術者、教育産業等の分野で活躍する研究者・技術者を輩出する。これらの産業分野における技術開発研究に携わる人材</p>

	を輩出するほか、関連する研究機関に人材を輩出する。
社会工学専攻	<p>① 環境，社会，経営に関する課題を解決し，持続的発展が可能な社会を構築するための先端科学技術の研究開発をすることができるイノベーション・リーダーとしての役割を果たし，学際的新領域の創成に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 歴史，文化，社会を技術的観点から考察する能力，専門的課題・技術に関し，国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力，基幹となる専門分野の高度な知識・技術と，専門的課題を発見し，専門性の深化によってこれを解決する能力を育成する。専門知識として人々の活動空間としての都市や住居，組織やコミュニティ，自然環境，活動の生産性と美的価値，計画性と多様性等，様々な側面から人々の活動と環境を包括的にとらえさせるためのシステムの企画，計画，設計，評価，構築，維持管理，改善に関する技術・知識を習得させる。</p> <p>③ 建築系建設，土木系建設，住宅，設計事務所，不動産，建材，福祉産業，コンサルタント，エネルギー，運輸，IT，鉄鋼，運輸・交通，電力，ガス，通信産業，鉄鋼・橋梁・セメント・コンクリート産業，プラント，自動車，電機，シンクタンク，商社，金融，鉄道，エネルギーの他，関連する官公庁・地方自治体で活躍する研究者・技術者を輩出する。これらの産業分野における技術開発研究に携わる人材を輩出するほか，関連する研究機関に人材を輩出する。</p>
共同ナノメディシン科学専攻	共同ナノメディシン科学専攻では，急速に進展するナノ工学の研究を最先端医療や最新創薬の研究に応用展開することで，ナノマテリアル，ナノデバイス関連分野に対する深い学識と技術を有し，創薬をはじめ，機能性食品，化粧品等の産業分野の発展に貢献できる人材を育成する。
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻	名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻では，情報学分野における高度な専門性と研究遂行能力，そして異なる文化や多様な価値を理解できる国際感覚を備え，幅広い視野から国際社会が直面する諸課題を発見し，その課題に対する創造的・独創的な解決策を提案できる人材を養成する。